

1. 題材名 「商品の選択と購入について考えよう

～修学旅行でいざ実践！ 買い物記録で金銭管理を学ぼう～」

2. 題材の指導計画（7時間扱い）

次	時間	主な学習内容	他教科等との関連
1	1	自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動が行われているか点検し、売買契約のしくみについて理解する。	社会
	1	具体的な販売方法や支払い方法の特徴がわかる。	社会
	1	消費者被害の背景と対応について理解し、その解決方法について考える。	社会
	1	実際の消費生活と結び付け、消費者の権利と責任について理解する。	社会
	1	物資・サービスの選択に必要な情報を活用して、適切な商品の選択ができるよう考える。	
2	1（本時）	修学旅行での自分の消費行動を振り返り、計画的な金銭管理の必要性について考える。	修学旅行
3	1	これまでに学習したことを生かして、自立した消費者として、環境や社会のために責任ある消費行動を考え、工夫し、実践する。	

### 3. 本時の学習

(1) 本時の目標 修学旅行での支出について、自らの主体的な考えに基づいて商品の選択や購入ができたか振り返り、責任ある消費者として金銭管理が重要であることを認識する。

#### (2) 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	備考
導入	10分	<p>1 修学旅行のお小遣いの出納記録簿をひらき、きちんと記入されているか確認する。</p> <p>2 本時の学習の目的を知る。</p> <p>3 出納簿から収入と支出及び残金の金額をワークシートに抜き出し、自分のお金の支出額について感じたことについて、グループで話し合う。</p>	<p>○修学旅行期間中、お小遣いの出納を毎日記録簿に記帳するように指示しておく。</p> <p>○修学旅行中のお小遣いの使い方を分析することを伝える。</p> <p>○自分の金銭感覚を客観的に見つめさせる時間を作る。</p>	<p>修学旅行のお小遣いの出納記録簿</p> <p>グループワーク</p> <p>ワークシート（問1）</p> <p>電卓</p>
展開	15分	<p>4 商品やサービスをお金で購入したことについて、目的をどのくらい果たすことができたか、環境や人権等について配慮できていたか、点数をつける。</p>	<p>○自分の商品の購入の仕方について振り返り、それを数値化することで、客観的に自分の消費の姿についての認識を深めさせる。</p> <p>○事前に学習した、環境や社会に対する責任ある消費について振り返らせ、点数をつけやすくする。</p> <p>○クラスの友人のおおよその点数の分布を把握し、自分の消費行動が意識的に行われていたか、確認させる。</p>	<p>ワークシート（問2～3）</p>
	15分	<p>5 購入の満足度の低い商品等に使ったお小遣いの金額を算出し、支出全体のどのくらいを占めていたか、割合を計算する。</p> <p>6 自分の消費行動が社会や環境に対して責任ある行動であったか振り返らせる。</p>	<p>○割合が高かった生徒の消費行動は自分のお小遣いに対してだけでなく、社会や環境に対しても負荷をかける消費行動であったことを認識させる。逆に、割合が低かった生徒の消費行動は、社会や環境に対してどちらかといえば責任ある消費ができたことについて、認識させる。</p>	<p>ワークシート（問4）</p>
まとめ	10分	<p>7 私たちは経済的投票権を持っていることを思い出し、責任ある消費をするために、金銭管理が重要であることを理解する。</p> <p>8 金銭管理の方法を自分なりに考えて、ワークシートに記入する。</p> <p>9 金銭管理の有効な方法を発表し、それぞれの方法を共有し、各自の実践につなぐ。</p>	<p>○自分のお金の使い次第で社会が変化することについて学んだことを思い出させる。</p> <p>○多くの視点を持って商品等を選ぶことが、無駄遣いを減らすだけでなく、責任ある消費としても価値があることを伝える。</p> <p>○「小遣いの出納簿を記録し続ける」等の考えの他に、魅力的な考えがある生徒に発表させる。</p> <p>○自分の考えに友人の考えを加えて、よりよい金銭管理の実践につながるように促す。</p>	<p>他教科での学習</p> <p>ワークシート（問5）</p>